

八重山諸島修学旅行を通じた ESD探究活動

総合的な探究の時間を活用した全生徒参加による調査・研究活動の取り組み

兵庫県立北須磨高等学校
余田 光樹也・大岩 咲・清水 歩・田中 晃太

1.目的

- ▶ 八重山諸島修学旅行を通じて全生徒が探究課題を発見し、解決していくための資質・能力を養う
- ▶ ユネスコスクールの特性を活かし、全生徒がESD活動を推進できる学習環境を構築する



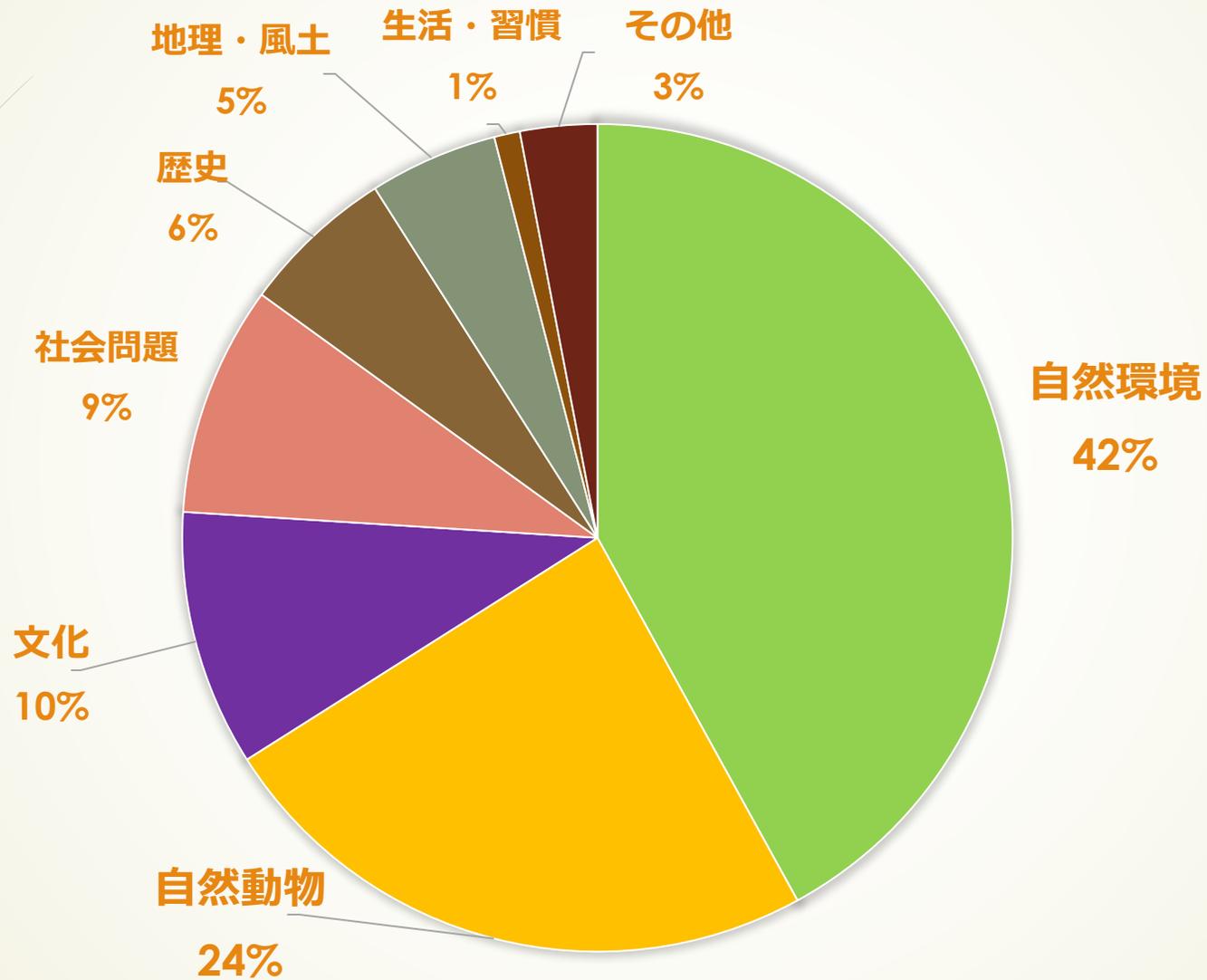


2.年間の流れ

1. 八重山諸島の特徴・魅力・課題についてレポート作成
2. 作成したレポートをもとにグループで1人3分の発表
現地で見てみたい項目、聞いてみたい項目などを検討する
3. 修学旅行中(11月)にインタビューや写真撮影、
フィールドワークを行う
4. 現地を訪れて感じたことを共有し、課題を考える
5. 先行事例などを調べ、解決策・提案を考える
6. プレゼンテーションを作成・クラス内でグループ別に発表し、1,2年次合同で代表生徒による発表会を行う

3. テーマ

テーマ別内訳(概数)



4.活動による効果

- ・興味関心を抱く
- ・異なった角度からの自己内省
- ・新たな発見



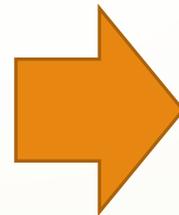
**アプローチの仕方や対策が異なり、
互いに良い刺激を与えた。**

**調べた内容をどのようにSDGsと関連
づけると良いのかがわからなかった。**

5.現在

- ➡ 段階的に対象を地域から地球規模に広げる
- ➡ 「環境」「文化」を共通のテーマとし様々なアプローチで調査・研究・発表を行う

八重山諸島



その他の地域

6. 今後の課題と対策

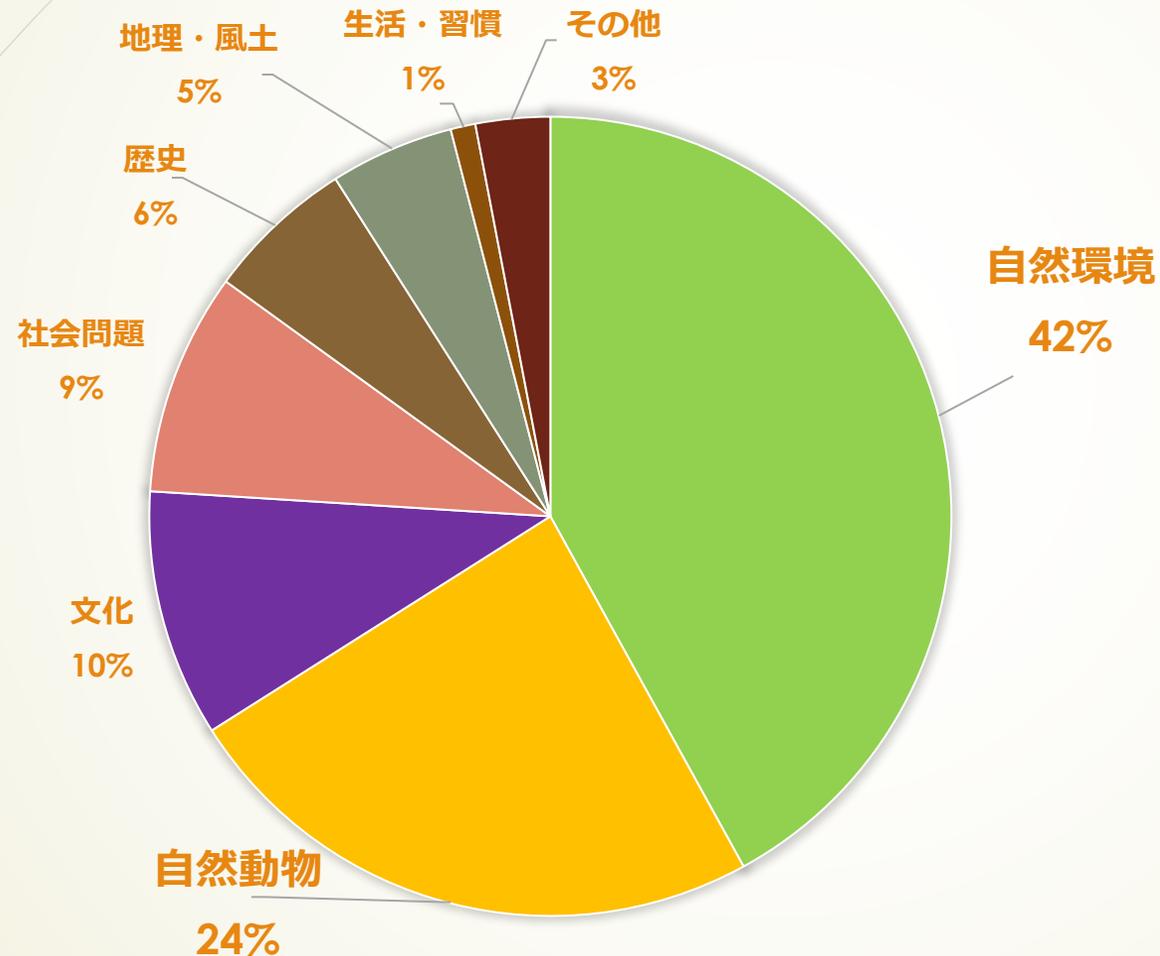
- ▶ 情報収集能力の不足
- ▶ 発表内容の焦点のずれ



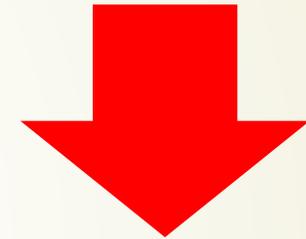
論文検索や文献調査等の深い研究が実施
できるような体制をととのえる

6. 今後の課題と対策

テーマ別内訳(概数)



テーマの偏り



環境に関連していると考えられる文化をテーマにする

6. 今後の課題と対策

- ▶ 興味関心の高い生徒と低い生徒の温度差



西表島が世界自然遺産に認定されたことを利用して生徒の興味関心を全体的に高める

優秀発表作品 抜粋紹介

水不足の歴史に着目

海外の観光資源である死海を
イメージした新しい娯楽施設

県などの統計データに
基づいて展開

データを踏まえた上で
実現可能性の高い対策案

主要産業という経済面から
環境面への展開

他地域の既存の取り組みを
応用し、解決案として提案



生徒によって発表内容の質の差が大きいのが現状

しかし、この活動はまだ始まったばかり...

今後、北須磨高校ではさらに深い内容を学習できるように改善し、ESD探究活動に力を入れていきたい

ご清聴ありがとうございました。